

各位

上場会社名 スター・マイカ株式会社
 代表者 代表取締役社長 水永政志
 (コード番号 3230)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長兼経営企画室長 日浦正貴
 (TEL 03-3568-1770)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年1月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,575	938	679	379	4,573.49
今回修正予想(B)	6,216	1,062	795	450	5,254.66
増減額(B-A)	△358	124	115	71	
増減率(%)	△5.5	13.2	17.0	18.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	6,483	807	600	340	4,128.64

平成23年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,475	832	575	334	4,026.51
今回修正予想(B)	6,106	938	732	454	5,299.97
増減額(B-A)	△368	106	157	120	
増減率(%)	△5.7	12.8	27.4	36.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	6,403	749	542	325	3,956.05

修正の理由

当社グループでは、主に中古マンションの取得・保有(賃貸)・改装後の売却活動を行っております。
 連結業績予想について、「売上高」が減少し、「営業利益」が増加した主な要因は、中古マンション事業において、1室当りの売却利益を最大化すべく、時間をかけてより付加価値の高い物件作りに注力したことから、販売数減少により売上高が減少したものの、当初予想を上回る利益率で売却が進捗したことで売却利益が増大したこと、また、アドバイザー事業において、証券化案件の一時収入、子会社での仲介業務が順調に拡大したことにより、仲介手数料が増大したことによるものであります。「経常利益」「四半期純利益」につきましても、公募増資による資金調達コストの負担が生じたものの、前述の営業利益の増加に伴い、利益が増加しております。個別業績予想につきましても、概ね連結と同様の理由によりますが、好調な子会社からの配当収入により単体での利益が増加しております。
 また、東日本大震災による影響としては、一時的には売却活動の停滞、改装の遅れが生じたものの、現時点では、当社決算に与える影響は軽微なものに留まっております。
 なお、平成23年11月期通期の業績予想に変更はありません。当社の平成23年11月期第2四半期決算発表は、平成23年6月30日を予定しております。

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、上記数値と異なる場合があります。

以上